

事業コード	H29-建-新-02		区 間	● 国庫補助 ○ 県単独			
事業名	地方道路交付金事業(改築)		部局課室名	建設部 道路課			
事業種別	一次改築(現道拡幅・バイパス)		班 名	調整・企画管理班 (tel)018-860-2483			
路線名等	一般国道 107号		担当課長名	参事(兼)道路課長 石川 浩司			
箇所名	由利本荘市大築		担当者名	副主幹(兼)班長 柳沢 悟			
プランと連関	政策コード	03	政 策 名	未来の交流を創り、支える観光・交通戦略			
	施策コード	05	施 策 名	県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備促進			
	指標コード	03	施策目標(指標)名	地域間ネットワークの構築			
1. 事業の概要							
事業期間	H 30 ~ H 40 (11 年)		総事業費	54.5 億円	国庫補助率 65.45		
事業規模	延長 L=2,350m 幅員 W=6.5(9.5)m (1.50-3.25-3.25-1.50)						
事業の立案に至る背景	<p>国道107号は、岩手県大船渡市から北上市、横手市を經由して由利本荘市までを連絡する路線であり、産業基盤の強化、地域間交流・連携を支援する広域的な幹線道路であるほか、地域住民の生活圏を支える重要な路線である。</p> <p>しかし、当該区間は同路線における由利管内唯一の未整備区間となっており、豪雪地域でありながら必要な一次堆雪幅(1.0m)が確保されていない区間が大半で、急カーブ(最小曲線半径40m)も点在していることから、事故多発等、車両の安全な通行に支障をきたしている。また第二次緊急輸送道路にも指定されている本路線の機能を保持するため、早急に整備を実施する必要がある。</p>						
事業目的	<p>○現道拡幅及びバイパス整備による安全で円滑な交通の確保</p> <p>・線形改良及び幅員の確保による車両等通行の安全性等の向上</p> <p>○緊急輸送道路としての機能を確保する(第二次緊急輸送道路)</p>						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			全 体	H 30 年度	H 31 年度	H 32 年度	H 33 以降
	事業費		5,453,000	56,000	66,000	50,000	5,281,000
	経費内訳	工事費	5,153,000				5,153,000
		用補費	120,000			50,000	70,000
		その他	180,000	56,000	66,000		58,000
	財源内訳	国庫補助	3,568,989	36,652	43,197	32,725	3,456,415
		県 債	1,695,500	17,400	20,500	15,500	1,642,100
その他							
一般財源	188,511	1,948	2,303	1,775	182,485		
事業内容			路線測量、道路・橋梁詳細設計、地質調査	用地測量・建物調査	用地買収、物件補償	用地買収、物件補償、本工事	
調査経緯	○平成27年度 道路概略設計						
上位計画での位置付け	○第2期ふるさと秋田元気創造プラン重点戦略(観光・交通戦略)の「地域間ネットワークの構築」を推進する事業						
関連プロジェクト等	○由利本荘市総合計画 本荘を都市機能集積拠点とし、本荘から東由利までの幹線ルートを機能連携軸として位置づけ、地域間の機能連携と交流の強化による由利本荘市としての一体感のある新たなまちづくりを実現していくこととされている。						
事業を取り巻く情勢の変化	<p>○当該区間は由利管内における国道107号唯一の未改良区間となっている。</p> <p>○大築地区国道整備促進協議会が設立され要望書が提出されている。(平成28年~)</p> <p>○当該工区の改良に関係する要望書が各団体から提出されている。(毎年)</p> <p>○由利本荘市議会合同で道路整備の要望書が提出されている。(毎年)</p>						
事業効率把握の手法	指標名	県管理国道改良率					
	指標式	改良率(県管理国道改良済延長/県管理国道実延長)					
	指標の種類	○ 成果指標	● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無		
	目標値 a	94.5	%	データ等の出典	道路課調べ		
	達成値 b	93.8	%				
達成率 b/a	99.3	%	把握の時期	平成 29 年 4 月			

2. 所管課の1次評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	○車道幅員が5.5mと狭く、設計速度に対する曲線半径がとれていない (R=150m未満) 急カーブが急峻な地形に沿って13箇所あり、視距不足により車両の通行に支障をきたしている。 ○当該工区では過去10年に11件の事故が発生しており、内3件は重傷者が発生しているため、早期に整備する必要がある。	22 点
緊 急 性	○秋田県道路整備計画において、日本海沿岸東北自動車道や秋田自動車道の代替路線としてその機能を補完し、由利地域と平鹿地域との地域間交流、広域的な物流や観光地へのアクセスに寄与する道路ネットワークとして位置づけられている。 ○当該工区起点側及び終点側は改良済みとなっており、同路線における由利管内で唯一の未整備区間となっている。一連の効果を発揮するために早期事業化が必要である。	20 点
有 効 性	○第二次緊急輸送路に指定され、日沿道の本荘ICアクセスに直接寄与する路線でもあることから、整備による機能強化が期待される。 ○二次救急医療施設である本荘第一病院および佐藤病院へのアクセス路線であり、整備による救命率の向上が期待される。	12 点
効 率 性	○事業の費用便益比は1.68であり効率性は高い。 ・総費用の現在価値 39.2億円 ・総便益の現在価値 65.9億円 ○計画交通量は6,700台/日である。	15 点
熟 度	○町内要望や旧東由利地区要望、由利本荘市と市議会の合同要望など、毎年のように要望書が提出されている区間である。 ○上記の要望などを踏まえ、平成28年度には新たに大築地区国道整備促進協議会(会長:由利本荘市長)が発足した。地元熟度はかなり高いと言える。	15 点
判 定	ランク (● I ○ II ○ III) 判定ランク I であり、事業実施箇所としての優先度はかなり高く、事業を実施すべきである。	84 点
総合評価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留 評定結果から事業実施箇所としての優先度はかなり高く、事業を実施すべきである。	

3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	○ 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
/	

4. 財政課長意見

意見内容	○ 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
/	

5. 最終評価(新規箇所選定会議)

総合評価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
事業実施は妥当である。	

6. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

計画的な実施に努める。

7. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

公共事業箇所評価基準

評価種別 新規箇所評価
適用基準名 道路改築事業 (地域間交流・連携促進)

事業コード (H29 - 建 - 新 - 02)
箇所名 (由利本荘市大築)

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題	道路構造上の欠陥箇所数	3箇所以上	17	12	・最小半径 40m ・冬期堆雪巾なし 計 2 項目
		・車道幅員<5.5m	2箇所	12		
	・最小半径<100m	1箇所	7			
	・最急勾配>5%	0箇所	0			
	・冬期堆雪巾なし					
	道路環境上の欠陥該当項目	・現道の混雑度 ≥ 1.0	5件該当	18	10	・現道の混雑度 1.03 ・現道の旅行速度 30km/h ・重大交通事故が発生 計 3 項目
		・現道の旅行速度 ≤ 30 km/h	4件該当	14		
		・現道の事故率 ≥ 50 件	3件該当	10		
		・通学路指定で歩道なし	2件該当	6		
		・重大交通事故が発生	1件該当	3		
		計	該当項目なし	0		
	計		35	22		
緊急性	道路をとりまく環境等					
	関連事業の有無	あり	10	10	・秋田県道路整備計画 ・由利本荘市総合計画	
		なし	0			
	緊急度の高い課題の有無	あり	10	10	・設計速度に対する曲線半径がとれていない平面曲線:13箇所 ・道路防災危険箇所:5箇所	
		なし	0			
計		20	20			
有効性	道路の位置づけ					
	緊急輸送路	第1次輸送路	8	7	・第2次輸送路	
		第2次輸送路	7			
		第3次輸送路	6			
		指定なし	0			
	救急医療施設へのアクセス	直接アクセスする	7	5	・二次救急医療施設 佐藤病院 (由利本荘市) 本荘第一病院 (由利本荘市)	
間接的に補充する		5				
アクセスへの貢献は小さい	1					
計		15	12			
効率性	事業の投資効果等					
	費用便益比 (B/C)	1.0以上	10	10	・B/C=1.68	
		1.0未満	0			
	計画交通量	5,000台/日以上	5	5	・6,700台/日	
		1,000台/日以上~5,000台/未満	3			
1,000台/日未満		0				
計		15	15			
熟度	地元の状況					
	地元ニーズ	文書要望あり	10	10	・由利本荘市等より要望書あり	
		口頭要望あり	5			
		要望なし	0			
	地元の協力体制	あり	5	5	・大築町内会長等より要望書あり	
なし		0				
計		15	15			
合計				100	84	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上~80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		